

## 山中漆器産業技術センターの平成22年度管理状況

施設所管課	商工労働部経営支援課
指定管理者	(財) 山中漆器産業技術センター 理事長 桶屋 幸蔵
指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日

### (1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入 新規業務に関しては、新規であることが分かるよう記入)																		
「挽物轆轤技術」の後継者育成	<p>挽物轆轤技術研修に関する業務</p> <table border="1" data-bbox="533 752 1370 1016"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>研修生数(人)</th> <th>講義時間(時間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎1学年</td> <td>6</td> <td>1,328</td> </tr> <tr> <td>基礎2学年</td> <td>2(内1名休学)</td> <td>1,272</td> </tr> <tr> <td>専門1学年</td> <td>5</td> <td>568</td> </tr> <tr> <td>専門2学年</td> <td>6</td> <td>700</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19(内1名休学)</td> <td>3,868</td> </tr> </tbody> </table>	区分	研修生数(人)	講義時間(時間)	基礎1学年	6	1,328	基礎2学年	2(内1名休学)	1,272	専門1学年	5	568	専門2学年	6	700	計	19(内1名休学)	3,868
区分	研修生数(人)	講義時間(時間)																	
基礎1学年	6	1,328																	
基礎2学年	2(内1名休学)	1,272																	
専門1学年	5	568																	
専門2学年	6	700																	
計	19(内1名休学)	3,868																	
山中漆器産業に従事する人たちが利用しやすい施設の管理運営	<p>施設及び開放機器の提供 施設、開放機器の使用(使用59件222人) 開館時間の延長 利便向上のため開館時間を夜9時まで延長(火曜及び水曜) 施設の情報提供、広報 ホームページを運営 関係機関との連携・協力の推進 各種講座実施</p> <table data-bbox="596 1375 1362 1576"> <tbody> <tr> <td>・漆芸教室</td> <td>受講生</td> <td>延べ596人</td> </tr> <tr> <td>・パソコン教室</td> <td>受講生</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>・山中漆器史研究</td> <td>受講生</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>・山中漆器の意匠開発事業</td> <td>受講生</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>・Japan(漆)Yamanaka2010支援事業(新)</td> <td>受講生</td> <td>39人</td> </tr> </tbody> </table> <p>山中漆器連合協同組合が取り組む産業振興事業をサポート。 石川県工業試験場と連携して、組合や従事者に技術を提供。</p> <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術的な情報提供及び相談</li> <li>・ 利用者への図書の貸出</li> </ul>	・漆芸教室	受講生	延べ596人	・パソコン教室	受講生	10人	・山中漆器史研究	受講生	18人	・山中漆器の意匠開発事業	受講生	6人	・Japan(漆)Yamanaka2010支援事業(新)	受講生	39人			
・漆芸教室	受講生	延べ596人																	
・パソコン教室	受講生	10人																	
・山中漆器史研究	受講生	18人																	
・山中漆器の意匠開発事業	受講生	6人																	
・Japan(漆)Yamanaka2010支援事業(新)	受講生	39人																	

伝統工芸に関心のある 県民（来県者を含む）が 利用しやすい施設管理 運営	施設の使用受付、案内等の接遇向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>職員全員に対し挨拶等接遇マナーを徹底</li> </ul> 自主事業の企画・実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>企画展の実施（センター展示室、加賀中央図書館）</li> <li>企画展の周知（市内関係機関及び旅館）</li> <li>県民への普及啓発事業             <ul style="list-style-type: none"> <li>見学者への説明 554名</li> <li>体験研修の実施 368名</li> </ul> </li> </ul>						
収入の確保と経費の節 減、適切な維持管理	授業料等の徴収に係る業務 <table border="0"> <tr> <td>授業料</td> <td>3,180,500円</td> <td>未納なし</td> </tr> <tr> <td>施設・開放機器使用料</td> <td>39,610円</td> <td>未納なし</td> </tr> </table> 効率的な維持管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>清掃委託 週1回の館内清掃</li> <li>保守点検委託（消防設備、エレベーター、空調設備）</li> <li>警備委託 夜間の機械警備</li> <li>小規模修繕 エレベーター機械室換気機器取替修繕工事</li> </ul>	授業料	3,180,500円	未納なし	施設・開放機器使用料	39,610円	未納なし
授業料	3,180,500円	未納なし					
施設・開放機器使用料	39,610円	未納なし					
（その他知事が必要と 認める業務）	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急連絡網の策定</li> </ul>						

## （２）施設の利用状況

### ①利用指標（（設定している場合）利用人数、稼働率などの数値目標）

指標	H21年度 （参考）	H22年度	前年度比	増減理由
研修生数（人）	19人	19人	100%	
利用者数（人）	1,826人	1,827人	100%	

### ②使用許可等の状況

区分	許可件数	不許可件数	不許可理由
施設使用	13件	0	
開放機器使用	46件	0	

## （３）使用料の収入実績

### 利用料金の収入及び減免の状況

区分	収入額	減免額	減免理由
施設使用	13,410円	69,760円	山中漆器連合協同組合等の利用
開放機器使用	26,200円	2,100円	山中漆器連合協同組合等の利用

## (4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	35,888	人件費	13,583
授業料収入	3,181	委託料	3,886
使用料収入	40	光熱水費	2,787
		修繕費	154
		その他の管理費	1,005
		轆轤研修事業費	17,694
合計	39,109	合計	39,109
収支差額	0		

## (5) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

## ①利用者の意見等

## (ア) 利用者アンケート結果

- ・ろくろ研修事業（平成23年3月実施 有効回答数8件）

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
施設の維持管理	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%

- ・施設開放事業（平成23年3月実施 有効回答数4件）

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
施設の維持管理	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

- ・漆芸教室事業（平成23年3月実施 有効回答数13件）

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%
施設の維持管理	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## (イ) 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
平成23年3月	・翌月の予定が決まるのが遅い。	毎月20日前後に翌月の予定を提示している。外部講師に関しては、他の研修機関・学校施設と併任しているため、若干のズレがある。

	・休講等の連絡体制の改善を検討して欲しい。	現在は、直接研修生に口頭で、もしくは電話をかけて連絡している。メールでの連絡体制を検討中。
	・研修生の自主的な管理も含め、夜間等の施設利用の検討をお願いしたい。	管理・経費の面から見て厳しいが、現在、産業振興の漆芸教室のある火・水は夜間の利用を許可している。

## ②事故、故障等

年月	内容	対応
	特になし	

## ③その他報告事項など

特になし
------

## (6) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取り組みが行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漆器に関する様々なスペシャリストを講師として招き、研修生に対して高いレベルの研修を行っている。特に所長（人間国宝）である川北良造氏自ら、所定講義回数以上の技術指導を積極的に実施している。</li> <li>・研修生をはじめ、産地の漆器関係者に対して、山中漆器産業の育成及び支援を行うための、意匠開発事業等を積極的に行っている。</li> <li>・児童生徒や一般を対象とした見学や体験教室等を積極的に実施し、山中漆器の普及啓発に努めている。</li> <li>・職人が自分の専門以外の漆に関する技術を習得する漆芸研修に加えて、事業者も商品のパンフレットを自ら作成できるようにパソコン研修を実施している。</li> <li>・入学案内書は県内外の高校、大学、組合等に配布し、研修内容について詳細な説明を行っている。</li> <li>・入学に関する問い合わせを受けた場合は、必ず事前に当センターで体験を行うよう依頼している。入学前に「漆</li> </ul>

		<p>器づくりという仕事の厳しさを実感してもらうことで、質の高い研修生を集めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の漆器事業者が研修及び施設・開放機器をより利用しやすくなるように、研修所の開館終了時間を週2回（火曜及び水曜）、午後5時から午後9時に延長している。</li> <li>・研修生や施設利用者を対象としたアンケートを実施し、サービスの維持向上等に活用している。</li> </ul>
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挽物轆轤研修事業を円滑に進めるために、設備の保守点検を定期的に行うなど、適切な維持管理に努めている。</li> <li>・施設等が故障した場合は、研修等に支障が生じないように速やかに修繕を行っている。</li> </ul>
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急連絡網を策定し、非常時に備えた危機管理体制を整えている。</li> <li>・ノウハウをもった職員を適切に配置することで、漆器業者の相談や見学・体験者への対応といった点を含め、適切な管理運営を行っている。</li> <li>・各種の基礎データを整備・分析し、経費節減と環境に配慮した管理を徹底している。</li> </ul>
④その他、必要と認める事項（例：苦情処理、個人情報保護）	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修生、相談者の個人情報保護に留意している。</li> </ul>
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山中漆器産業の育成及び支援を行うことを目的として、適切な管理運営を行っているほか、山中漆器に関心のある県民に対しての普及啓発事業も積極的に行っている。</li> </ul>

○評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を上回っている
- B（良）：仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C（可）：仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っている

○総合評価

- A（優）：適正であり、優れた実績をあげている
- B（良）：適正である
- C（可）：概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D（不可）：改善が必要である

※評価にあたっては、利用者アンケートの結果を考慮するものではないので注意すること

(7) 助言・指摘事項

特になし。